

伊那谷リニアバレーNEWS

～長野県にリニアがやってくる！～

VOL.4 令和4年 7月1日発行
長野県 建設部 リニア整備推進局
TEL:026-235-7016
FAX:026-235-7482
E-MAIL:linear-kyoku@pref.nagano.lg.jp

■ 移住者から選ばれるための地域の魅力や強みとは？

リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議とリニア中央新幹線建設促進長野県協議会では、「信州回帰や移住を促進していく上での伊那谷地域の魅力・強みとは」をテーマに、5月28日（土）に飯田合同庁舎を会場にオンラインを併用して「リニア開業を見据えたまちづくり講演会」を開催しました。

伊那谷地域に移住し、各方面で活躍されている5名の方によるご講演に引き続き、パネルディスカッションでは、地域が移住者から選ばれるための秘訣や意見など、様々なお話を伺うことができました。

また、アーカイブ配信を実施中です。以下のリンク(Youtube内)より視聴することができますので、是非ご覧ください。（講演者のご紹介を4ページに掲載していますので、こちらも併せてご覧ください。）

URL : <https://youtu.be/Q5zdN6AAOjg>



■ リニアの駅って、どーなるの？（リニア駅ができるまち飯田 オンライン報告会）

飯田市は、リニア駅周辺整備の基本方針「飯田・リニア駅前空間デザインノート」（2019年12月策定）の具現化に向けた検討状況の市民向け報告会を2回にわたり行います。

第1回目は5月28日（土）にオンラインで行い、駅前広場「結いの広場」の整備の基本的コンセプトと、二次交通のあり方を説明し、有識者とのトークセッションをお届けしました。

7月16日（土）開催の第2回目では、駅前広場のイメージ図などをご紹介する予定です。

二次元コードのリンク先から動画の視聴、資料の閲覧ができますので、ぜひご意見ご感想をお寄せください。

ご意見内容等も踏まえて開催する意見交換の場（9月予定）で議論を深めつつ、検討内容の確認と修正等、事業の実施段階に向けた取り組みを進めてまいります。

二次元コードを読み込んだリンク先^(※)で
【オンライン報告会を視聴する】をクリック
してください。



↑ 視聴はこちらから

(※)市ウェブサイトページ

ID検索 20220528 Q検索

ご意見もこのページからご投稿いただけます。

市YouTubeチャンネルで
リニア関連動画

公開中!



報告会の動画は
終了後も
視聴できます。

■伊那谷の風景をインスタで投稿してみませんか！

南信州・上伊那地域振興局では、伊那谷の新たなビュースポットを発掘し、その魅力を広く発信していくため、Instagramを利用した「伊那谷のいいところフォトコンテスト」を開催しています。

ビュースポットから写真を撮影し、キャプションに撮影場所を記載したのち、「#伊那谷のいいところ」、「#伊那谷フォトコン」の2つのハッシュタグをつけて応募者のInstagramに投稿してください。応募期間は4回、魅力ある写真のご応募をお待ちしています！

応募要領の詳細は以下のリンクよりご覧ください。

URL:<https://www.pref.nagano.lg.jp/minamichi/minamichisomu/pressreleases/documents/040324inadanifotokon.pdf>



■最終処分場跡地活用し、マウンテンバイク (MTB) コースを設営 (伊那市の取組)

伊那市は、市内（横山地籍）の最終処分場跡の約8,000㎡の敷地に、MTBコースを整備しました。

敷地内のコースには、起伏のある環状コースのあるエリアや林間を走ることができるトレイルエリアなど7つのコースがあり、子どもから大人まで幅広く楽しむことができます。処分場施設を休憩場として改修したほか、自転車のレンタル等も行うことができます。



伊那市 提供

伊那市公式 HP : <http://www.inacity.jp/shisetsu/kankoshisetsu/yokoyamabaiku.html>

GLOP Ante.公式 HP : <https://glopante.jp/>

■私も欲しい！アルクマピンバッジに「リニアラインタクシーver.」が誕生！

(有) BIGWAVE では、リニアラインをタクシーにラッピングしている、アップルキャブ南信州広域タクシー (有) の協力を得て、アルクマピンバッジの販売を開始しました。

アップルキャブ南信州広域タクシー (有)、南信州まるごとショップおいでなんしょ、(有) BIGWAVE 通販サイトのほか、様々なお店で販売しています。



(有)BIGWAVE 提供

なお、アップルキャブ南信州広域タクシー (有) は、EV 車を2台、PHV 車両1台導入し、飯田市から受託している乗り合いタクシーの竜東線で運行をして、公共交通の運輸部門から2050ゼロカーボンの達成に向けてCO₂排出削減をしています。

また、リニア開業に向け、地域の気運を高めようとEV・PHV車両3台の車体には、リニアラインや水引をかぶったアルクマ (南信州バージョン) が描かれ、南信州の特徴を表すタクシーデザインでの運行により脱炭素の取組やリニア長野県駅の開業に向けて、地域の気運醸成に向けた取り組みが進められています。



アップルキャブ南信州広域タクシー(有) 提供

南信州広域タクシーURL: <https://apple-cab.com/>

BIGWAVE URL: <https://pin-bigwave.jp/index.html>

■官民共同でワーケーションの新たな基盤やサービスの開発推進！（辰野町の取組）

辰野町では、昨年度、長野県が独自に始めた「おためし立地チャレンジナガノ」において、「電通国際情報サービス」、「ウイングアーク1st」とマッチングされたのを機に、官民共創チームを組織し、ワーケーションの新たな基盤づくりに着手しています。

予約から精算までワンストップで行える基盤構築を電通国際情報サービスが行い、辰野町はワーケーションエリアと付加価値となるサービスを開発。「ウイングアーク1st」は利用者目線でさまざま提言をすることで事業を進めていきます。

辰野町内では、市街地から里山までの距離が近いコンパクト感などのメリットを活かし、ワーケーション利用者が地域をつくる共創人口となるまちづくりを進めていきます。

URL: <https://www.tatsuno-job.jp/worktrip/>

■移住者と住民が地域の魅力や課題を意見交換！（駒ヶ根市の取組）

駒ヶ根市と移住者アドバイザーらで構成する「よりみち出版」では、5月22日（日）に移住者交流会を開催し、移住者と住民が駒ヶ根市で暮らしてみた感想や気づきを出し合い魅力や課題を共有しました。魅力としては、中央アルプスなどの眺望が良い点、都会と比べ犯罪が少ない点などが挙げられた一方で、改善点として、公共交通機関が充実していない点、子どもが遊べる場所が少ない点など挙げられました。

交流会は、これまでも開催されていましたが、今回は会場の出入りを自由にするなど工夫し、より気軽な場としました。引き続き、交流会を開催する予定であり、駒ヶ根市は、移住者と地域住民がゆるりと交流できることを期待しています。

URL: https://www.city.komagane.nagano.jp/iju_teijusite/index.html

■住民と一体となって空き家解消に取り組んでいます（飯田市上久堅地区の取組）

飯田市上久堅地区では、「空き家対策特別委員会」を立ち上げ、地区を挙げて空き家の解消、移住促進、景観保全に取り組んでいます。「リニア開業を見据えたまちづくり講演会」に講演者として出席された、飯田市上久堅地区地域おこし協力隊の地主さんが仲介役となって、「家主」と「空き家」について相談に乗り、特別委員会へ協力の依頼があれば、住民と一体となって空き家の片づけを行うこととしています。

地主さんは、空き家の解消だけでなく、移住者が上久堅のメリット、デメリットを理解していただくため、移住を希望される方と個別でご相談を受けています。

■木曽川源流とする木祖村と水源とする愛知県名古屋市が森林資源活用で連携！

木祖村と名古屋市は、森林資源を活用し、都市と地方が支えあうため、森林整備に取り組む協定を結びました。名古屋市とは40年以上交流があり、協定では、木祖村内の3ヘクタールの森林に名古屋市民との交流の場として改めて位置づけ、植林や豊かな自然を味わう環境学習を行いながら整備します。活動で生じた間伐材を活用した製品の開発など、森林整備や地域活性化につなげられる取組を目指しています。



木祖村 提供

■ リニア開業を見据えたまちづくり講演会 講演者のご紹介



waratte 代表 杉山 豊 氏

waratte では、農家民泊をはじめ、コーヒーのイベント出店など、幅広いジャンルの事業を展開。

講演会のパネルディスカッションでは、ファシリテーターとして、他講演者の様々な意見・想いを引き出している。



一般社団法人〇と編集社 代表 赤羽 孝太 氏

コミュニティーアーキテクトとして自分が住みやすいまちづくりを目指し、地元の課題解決に奮闘中。

講演会では、リニア開業を見据え、伊那谷を通りながら、飯田と松本、東京を繋ぐ広域的な知見のお話もお聞きできる。



合同会社伊那谷サラウンド 代表 北林 南 氏

Uターン後、天竜川でのラフティングの虜となり、地元の魅力を痛感。伊那谷サラウンドでは、共創をテーマに社会づくりを目指している。

講演会では、地域における若者と地元の方とのギャップを感じ、双方を繋ぐキーマンの重要性を説いている。



長谷川農園 長谷川 一矢 氏

三重県出身で自然に囲まれ、大好きであった飯田市へIターンし14年目。市内でパブリカや市田柿、水稻などを栽培。

講演会では、市民の目線から飯田の魅力や課題を自身の体験に基づき発言。ユーモアあるトークで場を沸かせる。



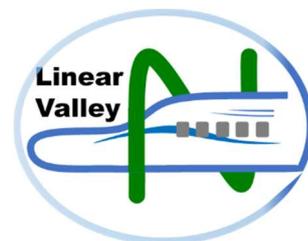
飯田市上久堅地域おこし協力隊 地主 健一 氏

飯田市上久堅地域おこし協力隊として、上久堅地区の空き家解消、人口減少抑制に向け、地区の方々と取り組んでいる。

講演会では、実際に移住された方々の事例をもとに東京と飯田を繋ぐリニアの関心の高さや、地元の温度感を真摯に説明。

県リニア整備推進局では、リニア中央新幹線開業に向け、気運の醸成を図るため、資料などへ使用できる右のロゴマークを作成しました。

今後、資料に貼付するなど積極的に使用していくほか、伊那谷リニアバレーNEWS を読まれる皆様にも、使用していただきたいと思えます。利用をご希望の場合、担当までご連絡ください。(連絡先:026-235-7016)



©長野県